



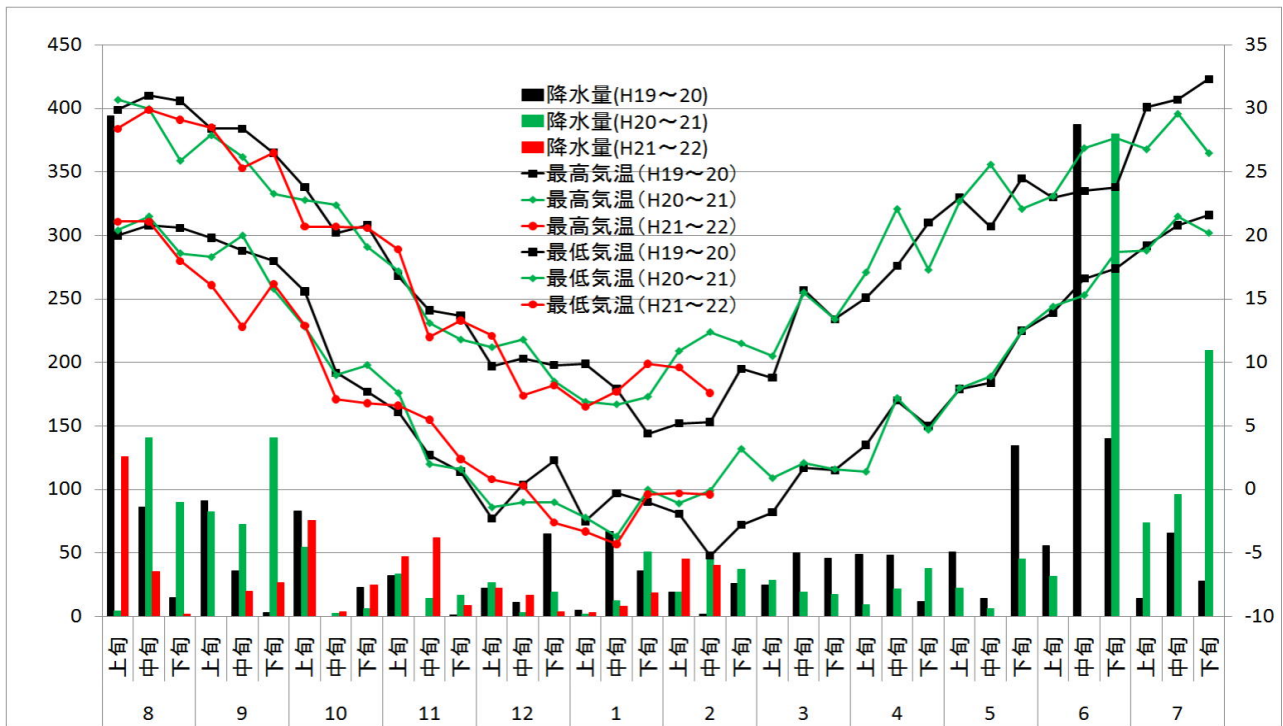
【東部振興局管内】 椎茸普及指導情報 第20号

H22.2.23

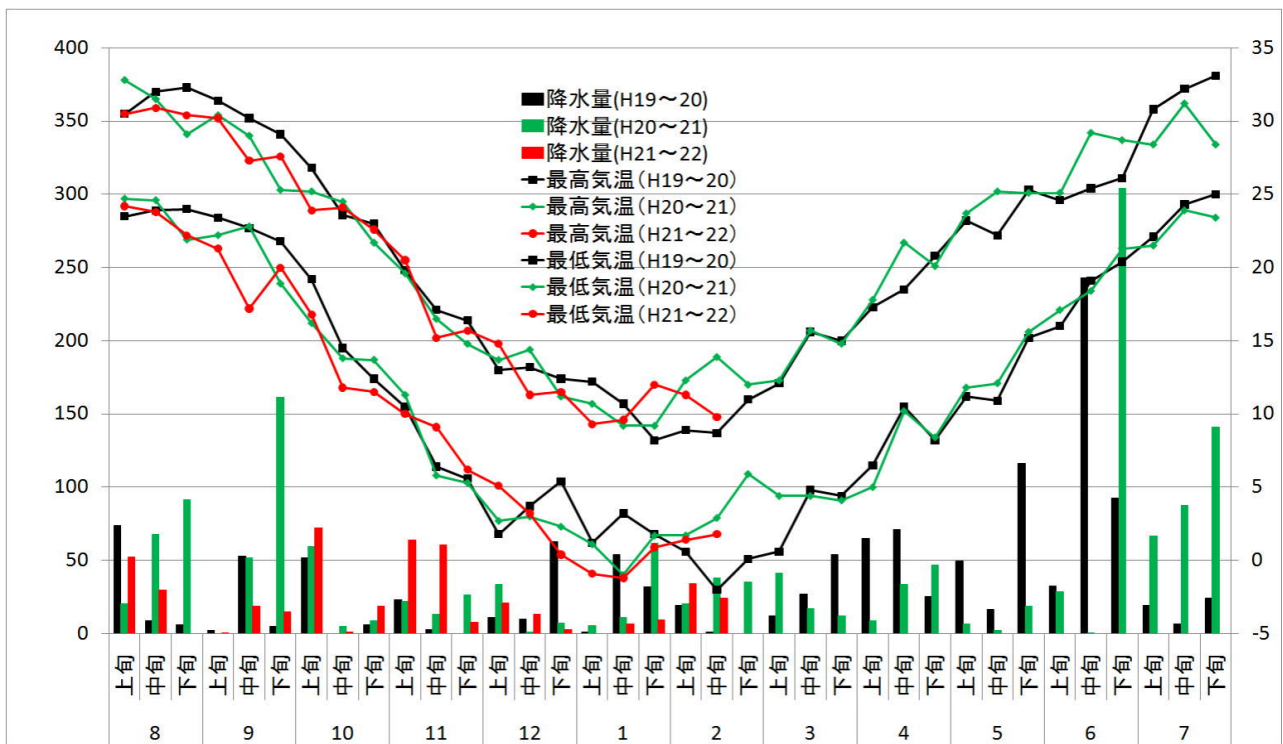
玉切、植菌作業、椎茸採取と猫の手も借りたい！？。忙しい季節になりました。体調管理に気をつけて、安全作業で皆さんそれぞれの目標に向かって頑張りましょう。

1 単収向上

- (1) 旬毎の気象推移について
- ア 杵築市本庄(標高5m)



イ 湯布院町川南(標高435m)



左の目盛りが降水量、右の目盛りが気温を示します。今年の気象は赤印です。
10月までは18号でお知らせしたとおり(省略)。

11月10,12,17日に計100mm程度のまとまった降雨の後は12月10,11日に計30mm程度の小降雨がありました。それ以降は雨は無く2月1日に30mm程度、10日前後に杵築市で15mm、湯布院町で40mm程度の降雨がありました。

気温は順調に低下し特に12月下旬から1月中旬までは大きく冷え込みました。ちなみに杵築で氷点下を記録した日は12月で9回、1月で18回、2月8回ありました。1月下旬以降は上昇し、2月8,9,10日では最高気温が20度近くまで上がりました。
(以上2月22日時点まで)

(2) 発生状況について(管内の状況を見た範囲で大まかに)

秋子は12月中旬頃までに採取され(写真①)、
低暖地においても1月は気温の低下によりしいたけの成長はとまりました。

[写真① 12/14 別府市標高300m 中低温1才]

気温上昇とともに温かいところから順番に芽切りがはじまりました(写真②③④)。



[←写真② 1/12 山香町標高200m 中低温菌1才]

[写真③ 1/22 国東町標高70m 低中温菌1才↓]



[↓写真④ 1/28 安岐町標高230m 低中温菌1才]



古ほだは新ほだに比べ、水分不足になります。

今年の古ほだは十分な抑制を受け良好な発生が期待出来ませんが、水分不足では良好な発生は期待出来ません。そのためにも、特に低温性品種ですが、雨通りの良いほだ場にする、散水により水分不足を補うことが大切です。



[写真⑤-1 1/25 大田標高 200m 低温菌 4才]

また、倒木等により発生操作を行うことも重要です。下の写真は低温性品種を倒木したものです。



[写真⑤-2 // 3才]

し冬菇、香菇での採取を心掛けましょう。

気温の上昇により小葉系の収穫が増加し、厚物系特に大型冬菇、香菇が品薄となることが予想されます。単価を稼ぐには厚物系での採取が必要と考えます。

管内も低暖地から高冷地までありますが、早い低暖地は2月中旬に春子のピークに入りました。収穫後は次のピークに備えるため、散水等によりしっかり水分補給を。

ちなみに2月19日に発表された九州北部地方の今後1ヶ月間(2/20～3/19)の天候によると「気温は高め、降水量は平年並み」が予測されています。

(3) ほだ木づくりについて



[↑写真⑥ 1/26 別府市標高 690m]

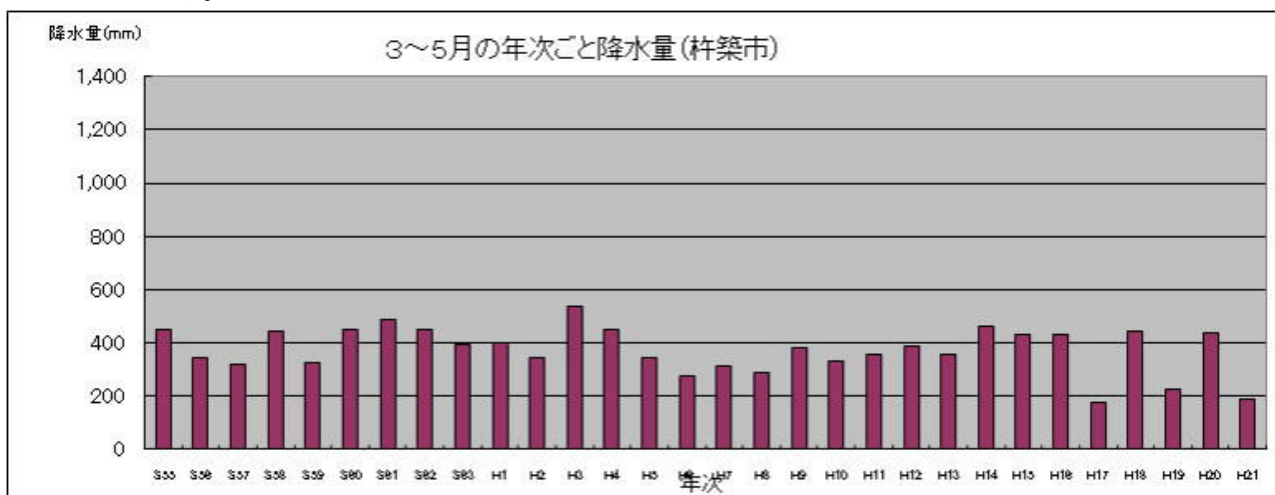
玉切・集積が終了したら早めに植菌し、仮伏を行いシイタケ菌の初期活着を促しましょう。

仮伏は植菌した種駒の乾燥を防ぎ初期活着を促進するための重要な作業です。

散水が可能な場所でほだ木づくりを行う場合は、植菌後ほだ木を棒積みにし笠木やダイオネット等で覆い、一晩十分散水する。その後降雨がなければ2日～4日毎に2時間程度の散水を行う。

下のグラフはS55年から昨年までの3～5月の年次毎降水量の推移です。

このグラフが示すとおりH17,19,21年はこれまでにないような少雨となりました。今年の気象はわかりませんが、仮伏せで確実な初期活着を行いましょ



木片駒の含水率は、50～60%であり、40%前後で安定した成長を示し20%以下に低下すると外部からの水分補給がなければ成長できなくなります。原木に接種された木片駒の含水率は、降雨が無ければ、4～5日後（日平均気温が8℃～10℃の時）には30%以下に低下し菌糸の成長が弱ります。
接種した種駒の水分保持を図ることが初期の活着・伸長に重要です。
仮伏せ（仮伏せ時の散水管理）を励行しましょう。

（4）第3回東部地区ほだ場コンクールの開催について

3月1日に審査します。
結果詳細は、第4回東部地区乾椎茸品評会でパネル展示し、皆さんにお知らせします。

[第2回東部地区ほだ場コンクール
（昨年度）の最優秀賞→]



2 単価向上

（1）第4回東部地区乾椎茸品評会の開催について
4月20日（火）に国東市安岐総合支所（昨年と同じ）で開催します。
審査は4月16日（金）に行います。

3 生産量拡大

（1）椎茸源兵衛塾について



第4期の椎茸源兵衛塾の卒塾式があり管内からは11名が卒塾されました。全部で11回の研修が実施されました。
第5期の源兵衛塾も予定されております。5月頃から募集が始まると思われます。意欲ある皆様のご参加お待ちしております。

[← H20.9.20 東部振興局内で開催された第4回研修会（地区別研修会）の様子]

大分県東部振興局生産流通部 野菜・椎茸班
担当 栗林（国東市エリア）河野（別府市杵築市日出町エリア）
Tel 0978-72-1141 fax0978-72-1242

